

# 社会福祉法人東京コロニー（コロニー東村山）視察

2022年1月13日 社会福祉法人東京コロニー（コロニー東村山）

東京コロニーでは障害のある方が国会図書館資料のデジタル化業務を進めています。「障害者優先調達推進法」を最大限活用した新しい調達のもと、国会図書館のデジタル化について受注しました。随意契約が可能な上限金額（1500万円）に近い画期的な事例です。今回は障害のある方が国会図書館資料をデジタル化する様子を視察しました。

## 障害者優先調達推進法

2013年4月 施行

「障害のある人が自立した生活を送るためには、就労によって経済的な基盤を確立することが重要」との認識の下、「障がい者が就労する施設等の仕事を確保し、その経営基盤を強化」することを目的としたもの。

課題

発注単価が安く、障害者就労施設等の経済的な基盤を確立することにほとんど寄与していないという実態が判明。（原因）

- この法律の活用の前例がない
- 予算決算及び会計令の解釈を誤解し、100万円を超えるような随意契約はできないと思っている府省庁多数

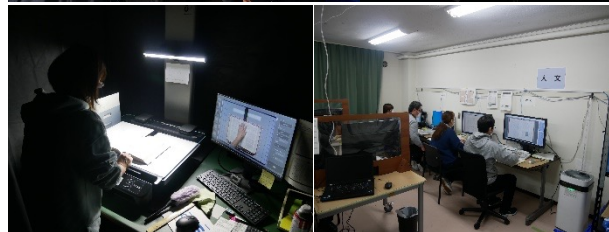
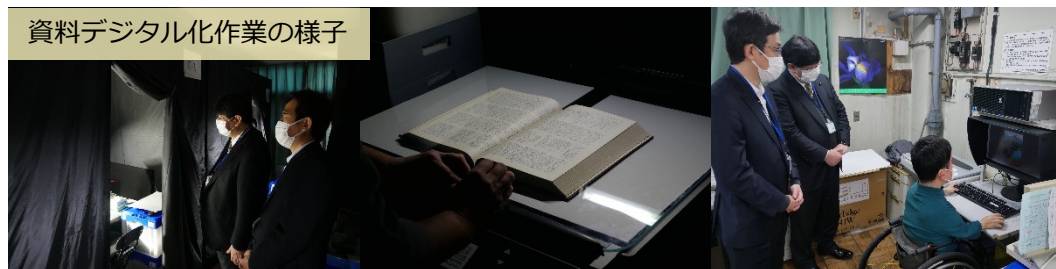
山田さんが  
協議を重ねた結果



- 「障害者優先調達推進法の枠組みでは1500万までであれば障害者就労施設等との随意契約ができる」という非常に重要な点を明確化
  - 厚生労働省と財務省にこの旨を国の各機関に周知することを依頼
  - 国会図書館に対しては5年間207億円の予算の執行にあたってはこの制度を最大限活用すべき旨を要請
- 障害者優先調達推進法を最大限活用した新しい調達が行われた→東京コロニー

## 東京コロニー視察の様子

資料デジタル化作業の様子



東京コロニー前にて



作業の方々にエール！